

第538回 長野放送番組審議会

1. 開催年月日 令和5年4月5日(水) 午前11:00より

2. 開催場所 長野放送本社会議室

3. 委員の出席 ○委員総数 8名
○出席委員数 8名
○出席委員の氏名(敬称略・委員は五十音順)

委員長 林 新一郎

副委員長 井口 弥寿彦

委員 浅井 隆彦

委員 加藤 恵美子

委員 笹本 正治

委員 瀧川 浩

委員 武重 正史

委員 南澤 光弥

○欠席委員の氏名(敬称略・委員は五十音順)

○放送事業者側出席者名

外山 衆司 (代表取締役社長)

船木 正也 (常務取締役 編成業務・放送番組審議会担当)

太田 耕司 (常務取締役 報道制作・企画事業担当)

西條 彰浩 (報道制作局長)

早川 英治 (編成業務局長)

浅輪 清 (編成業務局次長 兼 考査部長
兼 放送番組審議会事務局長)

北澤 輝久 (編成業務局編成部長 兼 視聴者室長)

伊藤 晴彦 (報道制作局次長)

毛織 華澄 (報道制作局制作部)

4. 議題

(1) 番組審議

『 NBSフォーカス∞信州

雪あればこそ ～北信濃 鉄道ふゆ旅～ 』

令和5年3月3日（金）夜7時00分～7時57分放送

(2) 視聴者対応報告（令和5年3月分）

番組種別報告（令和4年10月～令和5年3月まで）

(3) その他

5. 議事概要

(1) 番組審議

- ・毛織アナと連れ立って、雪の飯山線の乗り鉄の旅を疑似体験しているような気分を味わうことが出来た。
- ・毛織アナが自然体で好感が持てて良かった。適任を充てたとても良いキャスティングだった。
- ・この番組は毛織アナのキャラクターによって、雪国の辛さとか厳しさというものを和らげて良い1日旅ができたという雰囲気収まっていたという印象。
- ・毛織さんの個性というか、具体的にはキャッキョと笑って自然体で接することができるパーソナリティーが、相手から番組のポイントになる話を引き出せているように感じた。
- ・宮本アナのナレーションも、歯切れ良く、しかもテンポ良く非常に聞きやすいと思った。
- ・飯山線の車窓からの景色は、撮り鉄の方にはたまらないという雪景色で、雪の鉄路に走る車両をしっかり撮っていただいてその風景自体を堪能できた。
- ・飯山線の電車というのはすごく景色がいいので、それが出てくるのかと期待したが、電車での風景というのがあまりなかったのが残念だった。

- ・ 民宿に歩いていく場面は、まさに真っ白な雪一色の世界だった。天気も非常に良くてとても美しい雪の景観を捉えていた。
- ・ きれいな白い道でみんなが歩いているという情景がストレートに美しく可愛らしくて非常に良かった。
- ・ 雪の風景に古い写真が使われていて実に効果的で、かつてと今の比較をするのに良い写真が入っていた。
- ・ 雪で全てを覆い尽くした広い雪原というような景色を映して欲しかった。
- ・ どれも珍しくて地元の風物、産物、歴史に繋がるような料理を取り上げていて、食べに行くことが出来たらいいなと思わせてくれた。番組の主題と連続性を持ちながら旅気分を味わえ、たいへん好感を持ってグルメの紹介も見た。
- ・ 雪深い地域では、雪かき一つとっても生活の苦しい部分を助け合っ、何とか春を迎えるという脈々と続いたものが人々の発言に表れているのかなと感じた。
- ・ 雪国ならではの自然の景色とか、歴史ある街の風景とか、住む人の暮らしとものに触れ、知ることが出来て良い番組だった。
- ・ 4家族が登場してそれぞれに人生のエピソードみたいなことを語っていくという展開が面白くて、飽きさせない構成であつという間に見終わったという感じ。
- ・ それぞれの雪あればこそというものに傾注して見られたので、とても考えさせられた良い番組だった。
- ・ そこに暮らす人の生活だとか歴史だとかを織り込みながら、地域の文化だとか風土みたいなことにも思いを致すような非常に良い番組だった。
- ・ 全体的に流れる穏やかな温かいムードというのが非常に味わい深いというか、見終わった後も余韻が残る良い番組だった。
- ・ ポジティブに雪っていうのは良いものだよ、温かみがあるねとか、美しい自然が宝だというようなことを皆さん話していることに同じ県民ながら感銘を受けた。
- ・ 番組全体を通じて子供の頃の懐かしさと共に雪の温かみが感じられ、癒される番

組だった。

- 雪国の生活の多様性と、生活する皆さんの共通する価値観の両面がバランス良く表現されていて、モノトーンになってもおかしくない雪国の番組が、程良い彩り、和声というかハーモニーを感じた。
- 雪と共にある飯山の暮らし、その魅力を押し付けがましくなく、発信している番組だった。この番組を可能であれば観光用だとか移住促進用だとか、首都圏に住む人にも視聴できる機会があるといいということも強く感じた。
- できたら雪のシーズンが明ける時の美しさとか、住んでいる方の喜びも取材したらいいと思った。
- 民宿での毛織アナに対してのおもてなしがとても温かく感じて、できれば宿泊してもらいたかった。
- 訪ねる所が最初から決まっていたという感じがあったので、できれば毛織アナにある程度任せていろんな所を訪ねて、電車の中でのインタビューもやってもらった方が良かった。
- 食生活を通じて信州の広さ、新潟県との横の繋がりが見えてくると、もっと面白いと思った。
- そこに暮らす人の本当の意見まで掘り下げてレポートすれば幅のある重みのある番組になったのではないかと思う。
- この番組はある意味では良く知っている所を繋げていったに過ぎなくて、大発見とかこれは今まで全く私の視点の中ではなかったという所は少なかったように思う。
- 栄村の紹介で最北端というように末尾に端を付けていたが、端は付けずに「最北」と表現したい。

(2) 視聴者対応報告

資料に基づき、令和5年3月分の視聴者対応、及び令和4年10月から令和5年3月までの番組種別報告について編成局より報告を行った。

(3) その他

配布資料

- ・第537回番組審議会（令和5年3月）議事録
- ・視聴者対応報告資料（令和5年3月分）
- ・番組種別報告資料（令和4年10月～令和5年3月まで）
- ・民放連放送基準解説書2023
- ・放送倫理手帳2023
- ・長野放送番組基準
- ・タイムテーブル（4月～6月）
- ・モニターレポート
- ・BPO報告（NO.249）
- ・民間放送（第2213号）

以上